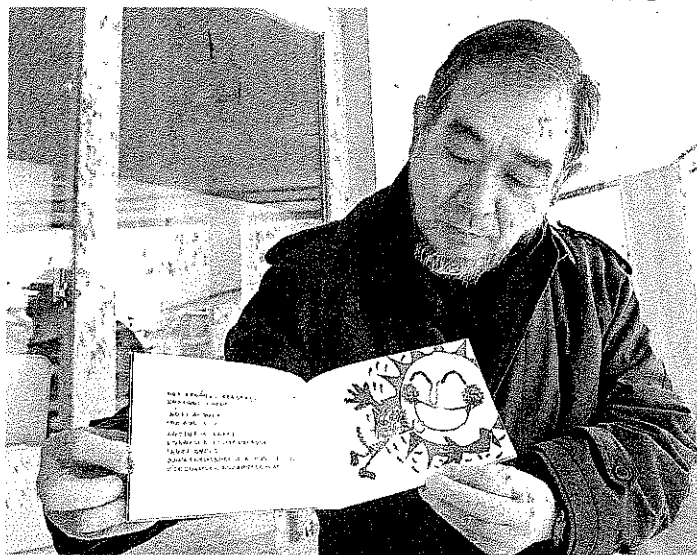


市民参加で太陽光発電装置の普及を進めているNPO法人「きょうとグリーンファンド」(京都市下京区)が発足10年を迎え、子ども向けの環

境教育用の絵本を作った。節電や自然エネルギーの大切さを学ぶ内容で、京都市内の幼稚園や保育園などに配布する予定という。



NPO法人きょうとグリーンファンドが、設立10年を機に作った絵本(京都市右京区・自然幼稚園)

おひさま発電大切に

普及進める京のNPO 10年

同ファンドは、市民 広く知ってもらおうと から寄付金を受け、府 作った。太陽とかくれ 内の公共性の高い建物 んぼをして遊んでいた 動に取り組んでほし を対象に太陽光パネル ネコが、暗い夜の中で を設置している。設置 自然の良さを感じてい 風力や水力、バイオマ 後は「おひさま発電所」 くストーリーで、太陽 スの発電機の設置も考 として地域での環境教 エネルギーの大切さも えていきたい」と話し 育の拠点に活用、余剰 伝えている。地域公共 ている。

園児向け絵本制作

発電分は寄付してもら 人材開発機構(伏見区) 絵本はB6判、20 っている。2000年 に制作を依頼し、蓄光 千部作製し、市内の公 11月にNPO法人の認 剤を使って暗闇で光る 共施設にも配布すると 証を受け、これまでに ページもある。 いう。 京都市や城陽市の保育 この10年で同ファン 寄付などの問い合わせ 園など計15カ所に取り ドに寄せられた市民の せは同法人 ☎075 付けた。 寄付は計約1480万 (3552) 9150。

絵本は、活動をより 円。国からの補助金や (山田修裕)

設置施設側の自己負担 金などを合わせ、パネ ル1基あたり約900 万円の費用を賄ってい る。

板倉豊理事長(62)